

269. 岐 阜 県 の 名 勝

登山バスで楽しめる乗鞍岳 (中部山岳国立公園)

標高3026米の巨峰乗鞍岳へは美しい登山バスによって楽々と登ることができる。這松地帯を過ぎ、お花畑を楽しみ、雷鳥群を驚ろかすこのコースは日本唯一のものであろう。途中には良質高温の平湯温泉がある。 高山線高山駅下車、バスで乗鞍終点まで三時間

白 山 国 定 公 園

岐阜、富山、石川、福井にまたがる白山は高山植物の豊富なこと、大原生林のあることなどで興味を持たれているが昔から唄われている通り三名山のひとつとして古くから知られている。岐阜県側には直下百米の白水の滝、大白川の露天温泉等で知られているが白山を南に下った石徹白部落は奥美濃の処で素朴な民情、風俗が今も残っているところ。 国鉄バス金白線 平頼下車(登山口)

養 老 県 立 公 園 (養 老 町)

孝子の伝統で名高い養老の滝は、楓樹につつまれた公園の奥にある。四季折々の風趣に恵まれ、附近には史蹟も多く公園から見おろす濃尾平野の眺望は雄大、夏は滝の附近にキャンプセンターが開設される。 近鉄養老駅下車

中 山 七 里 県 立 公 園 (下呂町, 金山町)

下呂温泉から下流飛騨金山までの益田川の渓谷美で、対岸には川に沿って飛騨街道が通じている。初夏には兩岸の岩に岩つつじが咲いて、下呂までのハイキングには快適、秋の紅葉時もまた見事である。 高山線飛騨金山駅下車

胞 山 県 立 公 園 (中 津 川 市)

恵那山を含めた天然公園でその中心地は根の上高原である。標高900米のこの高原は夏はキャンプが開かれ数百張の天幕村が出現する。ここにある保古の湖は周囲4軒余ボート遊びもできるが冬は結氷して西日本随一のスケート場となる。無形文化財の恵那文楽はこの近く、川上部落の郷土芸術である。本洲製紙中津川工場もこの近くにある。 中央線中津川駅下車 バス1時間

恵 那 峡 県 立 公 園 (恵 那 市)

大井ダムでできた峡谷美で上流十二軒の中津川市までの湛水区域は瀬となって舟遊びには最適のところ、周辺にそびえたつ岩の姿はそれぞれ形により、軍艦岩、金床岩、品の字岩等風趣に富んだ姿を見せる。特に傘岩は天然記念物に指定されている程である。この近くに金竜温泉がある。 中央線大井駅下車 バス15分

丸 山 蘇 水 湖 県 立 公 園 (八 百 津 町)

丸山ダムによってできた人造湖、岩と水の快調は観光客を喜ばせている。白鳥にもいた遊覧船は、長く水脈を引いて楽しい一日の行楽に花をそえる。この辺り一帯は丸山蘇水湖県立公園に指定されている。 名鉄八百津線 八百津駅下車 バス20分

日 本 ラ イ ン 県 立 公 園 (美 濃 加 茂 市)

木曾川の激流を軽舟に乗って下るライン下りは肝を冷すスリルを満喫するものである。美濃太田より下流夕暮富士までの一帯が県立公園となっている。 高山線美濃太田駅下車

千 本 松 原 県 立 公 園 (海 津 町)

水郷風景で知られたところで、ロケーションでは再々潮来(いたこ)の代用をつとめている。薩摩義士の治水工事で有名なところである。 近鉄長島駅下車 養老線石津駅下車

揖斐県立公園

揖斐川上流一帯の景勝の地で、山峽に展開する風光は自然郷を誇っている。西国三十三番の納札所として名高い谷汲山華嚴寺があり、また、名刹横蔵寺もこの地にあり国宝級の文化財が数多く蔵されている。 近鉄揖斐線揖斐駅下車 名鉄揖斐線本揖斐駅下車

宇津江四十八滝県立公園 (国 府 村)

滝上山に源を発する宇津江川の溪水で、一条の溪水は、平滝、上段滝、梵音滝、王滝、銚子口滝、障泥滝、瑠璃滝などの著名なものをはじめ四十八段の飛瀑をなしているのもこの様があり、夏はもとより秋の紅葉時にはまたとない遊覧地となる。 高山線 飛騨国府駅下車 徒歩6分

奥飛騨^{すこうながは}数河流集県立公園 (古川町・神岡町)

標高984メートルで、白樺林と木々の緑にバンガローが点在し、目を転ずれば雄大なアルプス連峰を一望におさめるこの高原は、まさに憩いの地にふさわしい。また、流葉山は数河高原に連なり、標高1422メートルの山頂まで車道が通じ、山麓一帯は白樺林につつまれ、白山連峰・北アルプスの全容を一望におさめ、ハイキング・キャンプに好適で、冬季また雄大な一大スキー場として名高い。

長 良 川 の 鵜 飼 (岐阜市、関市)

歴史と伝統を誇る長良川の鵜飼は、毎年5月11日から10月15日まで満月と出水の日を除いて毎夜行なわれる。古典的な烏帽子、腰簪姿の鵜匠の鵜綱さばきの妙技に観覧客の目をみはらせる。それにも増して鵜が鮎をとる活躍の様は篝火映ゆる川面の驚異とでもいおうか。屋形舟に乗込み川風に涼味を満喫しながらの遊覧は岐阜を代表する夏の風物詩でもある。 岐阜駅下車 市電またはバス15分(岐阜市) 岐阜駅下車 名鉄美濃町線新関駅下車(関市)

金 華 山 と 岐 阜 公 園 (岐 阜 市)

長良川畔に接する金華山の麓、昔、板垣退助の遭難の地は公園内にあり、銅像が建てられている。世界的に有名な名和昆虫博物館および児童科学館等がある、市民の憩いの場となっている。ここからは金華山頂上の岐阜城まで六百メートルのロープウエーがあって頂上まで三分半で登ることができる。 岐阜駅下車 市電又はバス15分

大 垣 城 (大 垣 市)

国宝であった大垣城は戦災でなくなったが、今度鉄筋で昔そのままの大垣城が再現された。岐阜県の一大工業都市として発展している大垣市のシンボルとして林立する煙突より遙かに高く雄然と市の中央にそびえ立つ風景は、昔、関ヶ原合戦に東軍、西軍共一大要衝の城として虎視たんたと望んだ様がかがえる。この附近には大垣市自慢の自噴水がこんこんと噴出している。 大垣駅下車 徒歩10分

水 都 大 垣 (大 垣 市)

江戸時代戸田侯十万石の城下町、市内には至るところ良質の自噴水が湧き出て「水の都」と呼ばれている。近時化学工業、繊維工業等の大工場が建設され岐阜県の一大工業地帯となっている。 大垣駅下車

高 山 祭 (高 山 市)

春秋二回行なわれる高山市を挙げてのお祭で絢爛を誇る二十五台の山車が繰出されて、その絢を競うのである。昔の飛騨の名工の作と言われ国宝級のものもあるという。登山の基地として山都高山といわれ、京都の街なみに似ているところから小京都とも言われて観光客には広く親しまれている。 高山線高山駅下車

虎 溪 山 永 保 寺

土岐川の清流に臨む永保寺は本県唯一の国宝に指定されている古刹である。この近くに本邦第二といわれるカトリック修道院がある。多治見市およびこの周辺は陶磁器の主産地である。 中央線多治見駅下車

新 長 谷 寺 (関 市)

「関の孫六」で有名な刀都、関市にある真言宗智山派の古刹で本堂と三重の塔は特別保護建造物に指定され五百年の歴史を誇っている。またここに安置されている仏像のうちには文化財に指定されているものもあり、往時の文化を物語っている。奇祭で名高い倉知もこの附近。関市は現在ポケットナイフ、洋食器の生産地としても有名である。
名鉄美濃町線新関駅下車

佐 吉 仏 (羽 島 市)

美濃聖人佐吉が江戸の鋳物師西村和泉守に依頼して竣工した大仏があり、参拜者が絶えない。同市木曾川畔には県下最大の放牧場がある。
名鉄羽島駅下車

関 ヶ 原 古 戦 場 (関 ヶ 原 町)

徳川、豊臣の二大勢力が天下わけめの決戦場。四方からせり出した山の狭い盆地でこの中を中仙道が西から東に通っている。昔は不破の関のあったところ。五軒四方位のこの小盆地に敵味方十数万の戦士を送り込んで戦ったということである。戦没者の石碑があったり、石ころが立てられたりしているが、だれがそなえるのか山の花が立てられて、微風にそよいでいることもある。種々の伝説等も多く謡曲に出てくる班女かの物語りもここであるとか。町には合戦当時を偲ぶよすがとして合戦当時のものを集めて郷土館ができています。
関ヶ原駅下車

郡 上 八 幡 (八 幡 町)

全国的な民謡として知られている「郡上踊」の発祥の地で、情緒豊かな山郷である。いまなお偉容を誇る八幡城があり城下町として栄えた往時が偲ばれる。
越美南線郡上八幡駅下車

白 川 温 泉 (白 川 町)

飛騨川に懸る釣橋を渡るとすぐ温泉街に着け、家族的でこじんまりした温泉地である。
高山線白川口駅下車
徒歩約5分

下 呂 温 泉 (下 呂 町)

御岳山に源を発する益田川の清流に沿う下呂温泉は、昔から草津、有馬とともに天下の三名泉の一つに挙げられている。湯煙立ち昇る情緒豊かな大温泉郷で、近代施設を誇る温泉旅館30有余が清流を眼下に見おろす高台に城郭のように建ちならんでいる。
高山線下呂駅下車

小 倉 公 園 (美 濃 市)

古くより桜の名所として知られ西条八十の「岐阜を通れば空まで赤い、あれは小倉の山桜」の名歌詞がある程である。長良川に望んだこの公園には展望台があり、野外ステージも作られている。美濃紙の生産地として美濃市は全国にその名が高い。
名鉄美濃町線 美濃駅下車

白 狐 温 泉 (瑞 浪 市)

土岐川の清流に沿うこの温泉はラジウム温泉で特に土岐川に張り出した花崗岩の岩床は特異な風景を展開し、ここにかかる釣橋の風情もよい。週末の旅行によい所である。
中央線瑞浪駅下車 バス20分

三 国 山 (土 岐 市)

美濃、尾張、三河の三国のわかれる頂点に三国山がある。この山には夏はテント村が開設せられ若人達の天国となる。この近くに柿野温泉がある。
中央線多治見駅下車 バス1時間

白 川 郷 (白 川 村)

白山国定公園飛騨側の山麓にあるこの村は、昔から大家族村として全国に知られている。平家の落人部落と言われ、茅葺の切妻合掌造りの大きな家は家族四、五十人を収容したという。ここに昔から伝わる麦屋節、古太尽などの民謡でも特異な存在として知られている。電源開発のために現在ダム工事が進められており、早晚湖底に沈む運命におかれている。
国鉄バス金白線鳩ヶ谷下車